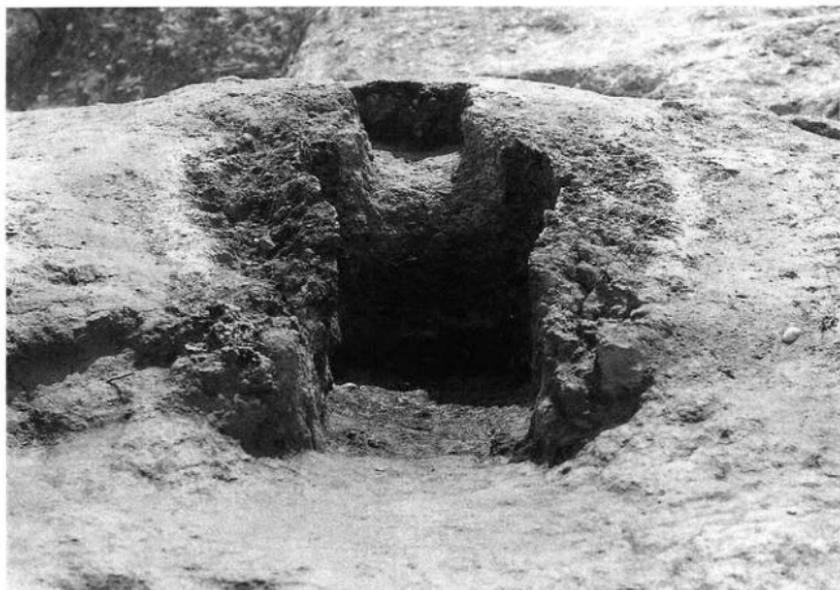


小杉町埋藏文化財発掘調査一覽

1994年度



1995年3月

富山県小杉町教育委員会

例 言

1. 本書は、平成6年度に実施した埋蔵文化財分布調査及び発掘調査の概要をまとめたものである。
2. 埋蔵文化財調査に係る事務局は小杉町教育委員会生涯学習課に置き、調査事務を文化財保護係長堀川辰幸が担当し、生涯学習課長河畑 淳が総括した。
3. 本書に収録の調査は、生涯学習課文化財保護係の原田義範・稲垣尚美が行った。
4. 調査の実施にあたり、富山県教育委員会文化課、富山県埋蔵文化財センターから指導・協力を得た。また、調査から報告書作成に至るまで次の方々や諸機関から教示・協力を頂いた。記して謝意を表したい。
五十嵐修二・小杉町土地開発公社・(株)小杉給食センター・(株)仲光・(株)高岡地所・八箇利美
みしま野苑一穂・山崎寿夫 (敬称略五十音順)
5. 調査を実施した遺跡の出土遺物は、小杉町埋蔵文化財整理室で整理を行い、遺物・原因・写真類は小杉町教育委員会が保管している。
6. 本書の編集・執筆は原田が行った。

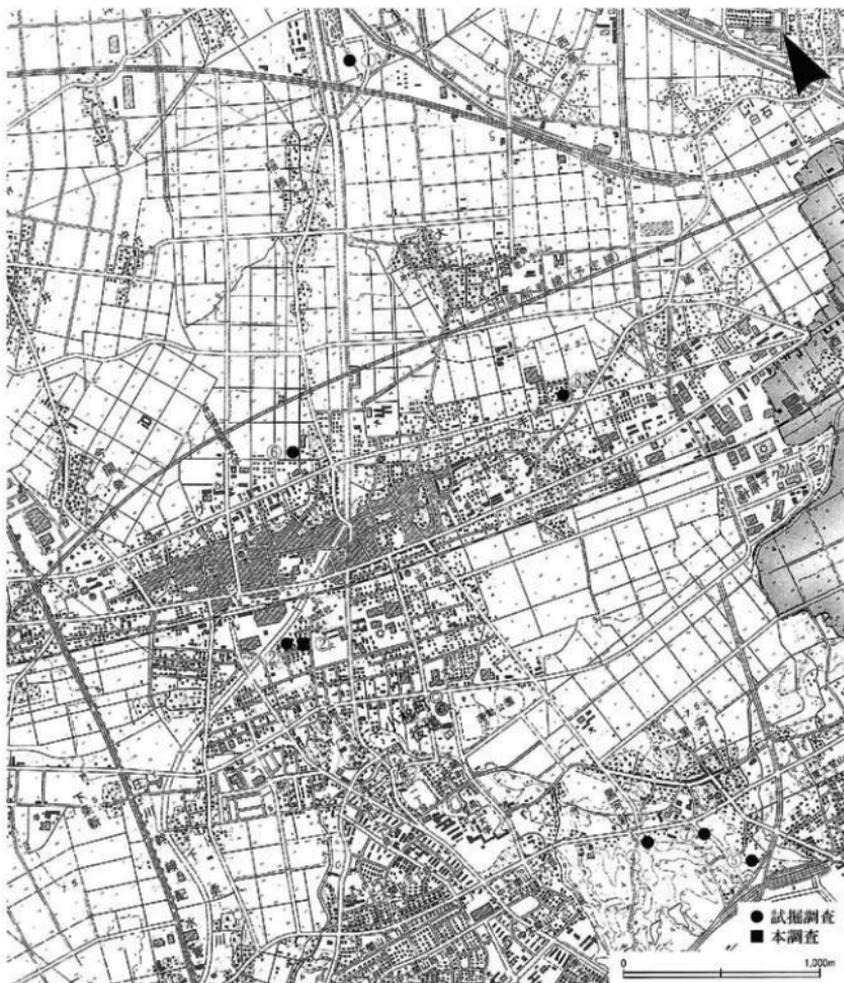
目 次

1. 平成6年度の概要	1
2. 分布・試掘調査	3
稲積遺跡 [No.1]	4
加茂社遺跡 [No.2]	5
三野遺跡 [No.3]	6
表野遺跡 [No.5]	6
黒河竹山遺跡 [No.4]	7
黒河南遺跡 [No.7]	7
HS-03遺跡 [No.6]	8
戸破若宮東遺跡 [No.8]	8
3. 本 調 査	9
加茂社遺跡 [No.2]	9
赤坂遺跡 [No.1]	11
丸山古墳 [No.3]	12
4. 普 及 ・ 活 用	13

遺跡名右側のNoは () が試掘調査、[] が本調査の一覧表の番号を示す。

1. 平成6年度の概要

平成6年度に小杉町教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、分布調査17件、試掘調査8件、本調査3件であった。このうち、本調査は丘陵部2件・平野部1件であり、公共事業1件・民間開発2件となった。試掘調査は全てが平野部であり、公共事業2件・民間開発5件・個人住宅1件となった。前年度に比べ民間開発に伴う試掘調査が倍増しており、当町での開発計画が増加することが予想される。



第1図 調査位置図 (1:25,000)

注：数字は調査一覧表の番号を示す。



第2図 調査位置図 (1 : 25,000)

注：数字は調査一覧表の番号を示す。

2. 分布・試掘調査

平成6年度に実施した分布調査は17件であり、そのうちの6件で試掘調査の必要を判断した。試掘調査は8遺跡8件であった。その結果、民間宅地造成事業1箇所で本調査が必要となり、引き続き調査を行い年度内に終了した。

No.	所在地	原因	調査日	対象面積	対象地の種別	現況	採集遺物	開発への対応
1	三ヶ2643-1外33筆 戸破2018-2	宅地造成	H6. 4.11	26,035㎡	加茂社道跡隣接地	標高約4.3～4.9mの水田	弥生土器・須恵器・土師器・珠洲・近世陶磁器	試掘調査必要
2	戸破字加茂1723-1 外4筆	宅地造成	H6. 4.21	1,717㎡	太閤山温泉道跡隣接地	標高約6mの水田		支障なし
3	戸破字神川2460 外21筆	宅地造成	H6. 6. 1	5,942.23㎡	戸破神川道跡内	標高約13mの水田・畑地	須恵器・土師器 陶器	慎重工事
4	黒河3752外5筆	店舗建設	H6. 7.12	1,080㎡	高山道跡隣接地	標高約30～40mの山林		支障なし
5	下条1227外3筆	宅地造成	H6. 9.20	3,846㎡	未踏査地	標高約5mの水田		支障なし
6	三ヶ508-1	医療施設建設	H6.10.20	6,342㎡	愛宕道跡隣接地	標高約3.2mの水田・畑地	弥生土器・須恵器	試掘調査必要
7	鷺塚・白石・大江 三ヶ(聖宮)地内	ふるさと農道建設	H6.10.25 10.26	32,000㎡	HS-03・04道跡内	標高約1～2.5mの水田・畑地・農道	弥生土器・珠洲陶器	試掘調査必要
8	浄土寺306外1筆	資材置場及び作業場建設	H6.11. 2	1,315㎡	未踏査地	標高約15mの水田・畑地		支障なし
9	白石569	資材置場建設	H6.11. 2	565㎡	未踏査地	標高約1.2mの畑地		支障なし
10	下条1704外10筆	物流倉庫建設	H6.11. 2	9,660㎡	下条新道跡隣接地	標高約6mの水田	弥生土器・須恵器 越中瀬戸	試掘調査必要
11	戸破字若宮2819-1 外26筆	宅地造成	H6.11.29	12,555㎡	戸破若宮東道跡隣接地	標高約3mの水田	弥生土器・須恵器・土師器・瀬戸美濃・越中瀬戸	試掘調査必要
12	戸破字若宮3050 外7筆	店舗建設	H6.12.15	1,044.46㎡	戸破若宮東道跡隣接地	標高約3mの水田	弥生土器・須恵器 陶器	試掘調査必要
13	青井谷字鳥越5019 外11筆	資材置場造成	H6.12.15	1,891㎡	小杉流田NO.26 道跡隣接地	標高約20mの水田・森林		支障なし
14	白石746-1外8筆	運送会社建設	H7. 2.21	6,761㎡	HS-04道跡隣接地	標高約1.5mの水田	越中瀬戸	支障なし
15	手崎字前田212-1 外7筆	宅地造成	H7. 2.28	3,633㎡	未踏査地	標高約4mの水田	弥生土器・須恵器 陶器	支障なし
16	中老田新字星丸 739-2	個人住宅建設	H7. 3. 3	229㎡	黒河尺目道跡内	盛土造成済み		支障なし
17	池多506外2筆	個人住宅建設	H7. 3. 3	190.97㎡	未踏査地	標高約24～25mの果樹地		支障なし
				計 17件	延べ 14日	対象面積 114,806.66㎡		

第1表 分布調査一覧

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	開発への対応
1	榎橋 (381001)	榎橋60外99筆	企業用地造成	H6.3.28～4.5 (延べ7日)	67,878㎡	2,320㎡	散布地	溝	弥生土器・中世土師器・珠洲 越中瀬戸・陶磁器・古銭	支障なし
2	加茂社 (381028)	三ヶ2643-1 外36筆	宅地造成	H6. 5. 9～12 (延べ4日)	23,871㎡	1,650㎡	散布地	溝・土坑	弥生土器・須恵器・珠洲 中近世陶磁器	本調査必要
3	三野 (381272)	野手31外1筆	店舗建設	H6. 7. 9 (延べ1日)	1,871㎡	102㎡	散布地			支障なし
4	黒河竹山 (381065)	黒河字竹山 3307-2外1筆	個人住宅増築	H6.11. 4 (延べ1日)	167㎡	4㎡	散布地			支障なし
5	表野 (381076)	黒河新字表野 125-1外1筆	店舗建設	H6.11. 4 (延べ1日)	819㎡	74㎡	集落 裂鉄	溝・小穴	弥生土器・須恵器	支障なし
6	HS-03 (381005)	三ヶ508-1 外11筆	老人保健施設 建設	H6.11. 8～9 (延べ2日)	6,342㎡	337㎡	散布地		弥生土器・須恵器・土師器 珠洲・陶磁器	支障なし
7	黒河南 (381067)	黒河字尺目 2996-1外	町道551号線 建設	H6.11.15～16 (延べ2日)	1,760㎡	135㎡	散布地		縄文土器・弥生土器・須恵器 土師器・鉄滓・珠洲・陶磁器	支障なし
8	戸破若宮東 (381295)	戸破若宮 3050外7筆	店舗建設	H7. 2. 2 (延べ1日)	1,044㎡	92㎡	散布地		弥生土器・須恵器・中世土師器 近世陶磁器	支障なし
計	8遺跡 8件				延べ 18日	対象面積 103,752㎡	発掘面積 4,714㎡			

第2表 試掘調査一覧

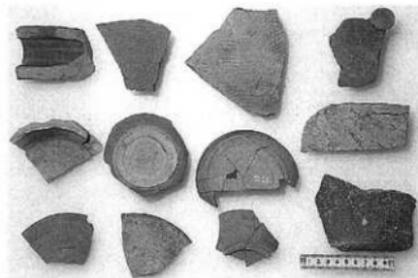
加茂社遺跡 (No 2)

遺跡は下条川右岸沿いの標高約8.5mの平野部に立地する。
調査は民間宅地造成事業に伴い実施した。

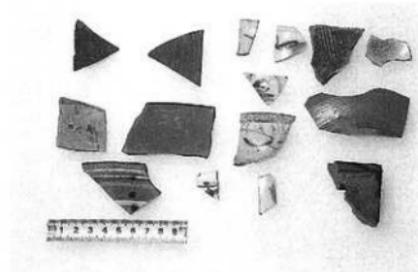
遺構は、1～8・41～43トレンチ付近に弥生時代の溝や土坑を集中して検出し、17～41トレンチでは平安時代初め頃の溝や柱穴状土坑を多く検出した。遺物は、弥生土器・須恵器・珠洲・中近世陶磁器などが出土した。計画地内においては、本調査が必要となる。



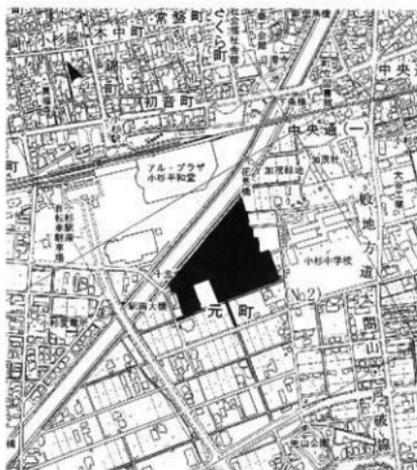
PL. 3 出土遺物 (弥生土器)



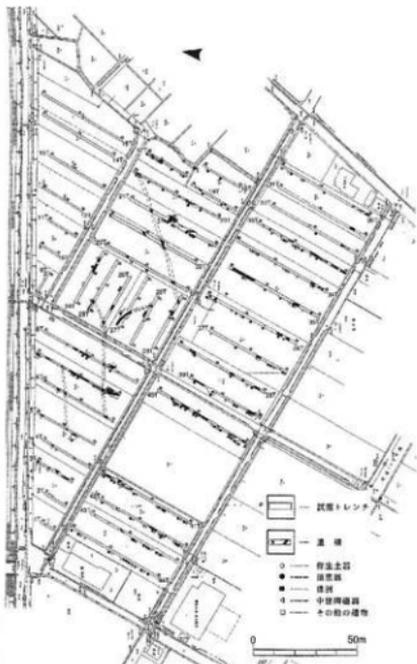
PL. 4 出土遺物 (須恵器)



PL. 5 出土遺物 (陶磁器)



第5図 調査位置図 (1:10,000)



第6図 発掘区

三野遺跡 (No.3)

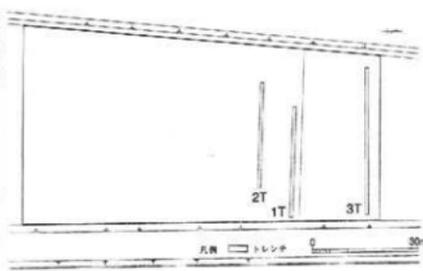
遺跡は下条川右岸沿いの標高約20mに立地する。調査は埋蔵文化財包蔵地内にあたる北側の二分分で実施した。その結果、現在の水田が整備される以前には、調査区西側に位置する下条川に向かって棚田が造られていたことが判明した。1トレンチの土層断面で、棚田の法面を保護するための貼石が確認されている。今回の調査では、遺構や遺物は確認されなかった。



第7図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 6 土層断面



第8図 発掘区

表野遺跡 (No.5)

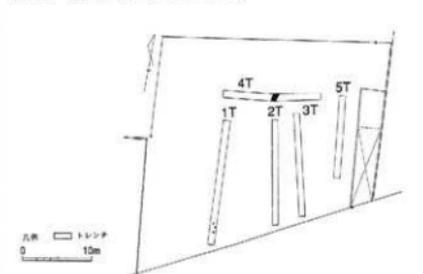
対象地の現況は畑地で、標高約15mに立地する。昭和56年度、県道七美・太閤山・高岡線建設に先立ち調査区南側隣接地において、住居跡1棟・炭焼窯2基が確認されている。暗茶褐色土の地山で遺構を検出し、4トレンチで溝1条、1トレンチで小土坑3基を確認した。遺構内から遺物の出土はなかった。地下道入口付近に、表面採集遺物として弥生土器・須恵器が確認できたが、工所用土砂の搬入時の混入と考えられる。



第9図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 7 1トレンチ掘削 (南から)



第10図 発掘区

黒河竹山遺跡 (No.4)

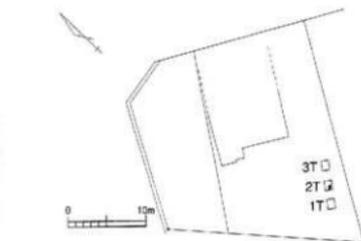
遺跡は射水丘陵の北東端に位置し、幅約200mの浅い谷間に立地している。調査区周辺では今までに数回の試掘調査が実施され、奈良～平安時代の遺物が出土している。また、製鉄に関連する遺物も確認されたため、丘陵部で多く発見された製鉄遺跡との関連が予想される地域でもある。今回の調査は、狭小域ではあるが遺構・遺物とも確認されなかった。



第11図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 8 遺構確認面



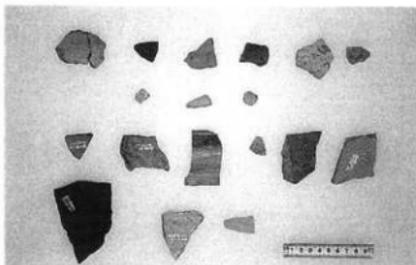
第12図 発掘区

黒河南遺跡 (No.7)

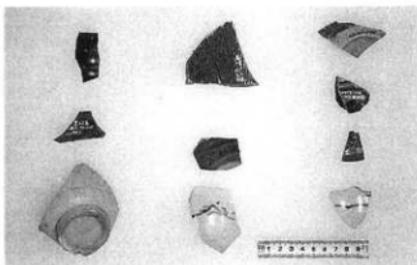
対象地の現況は水田で、標高約9～10mに立地する。砂・礫層が混在した灰色土、または植物遺体を包含する黒色粘質土に大別される地山面において、明確な遺構は検出できなかった。調査区は、西側に位置する丘陵部の緩斜面端部にあたり、東側に広がる水田と比べ最も低い水田となっていて浅い谷が入り込む地形となっている。この谷は、周辺の土砂が流入し堆積して形成されたことが窺え、出土遺物も土砂による流入と考えられる。



第13図 発掘区



P.L. 9 出土遺物



P.L. 10 出土遺物

HS-03遺跡 (No.6)

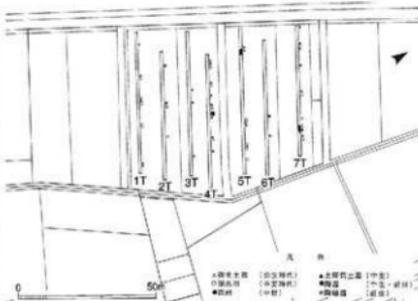
調査区は西側に広がる水田より僅かに低く、東側に位置する下条川へ向うほどより低くなっている。第15図に記載されている溝2条は、他のトレンチへのびていないことや遺物を伴わないために明確な遺構と判断することができなかった。しかし、中世を主体とした遺物の出土量が多いことから、近隣に規模の大きな中世集落が存在することが推察される。



第14図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 11 出土遺物



第15図 発掘区

戸破若宮東遺跡 (No.8)

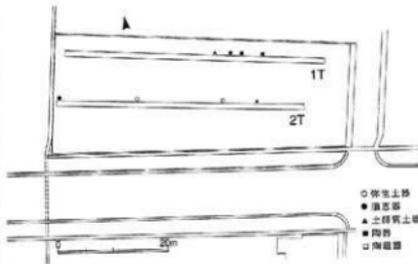
遺跡は下条川右岸の標高約3mに立地する。調査区は、埋蔵文化財貯蔵地の最南端部に位置する。調査の結果、灰黄褐色土または灰色砂である地山面で確認したものの、遺構は全く検出できなかった。水田耕作土下の炭化物を含む黒褐色粘質土より、弥生土器1・須恵器2・中世土師器2・越中瀬戸2・近世陶磁器1の計8点が出土している。遺構に伴わない散発的な出土のため、遺跡の広がりは見られないものとする。



第16図 調査位置図 (1:10,000)



P.L. 12 出土遺物



第17図 発掘区

3. 本調査

平成6年度に実施した本調査は、太閤山公園墓苑造成事業1件の公共事業と、民間会社の宅地造成や福利厚生施設建設の2件であった。

No	遺跡名	所在地	原因	調査期間	発掘面積	検出遺構	出土遺物
1	赤坂 (381139)	入会地字赤坂11-1外4筆	公園墓苑造成	H6.5.13-8.4 (延べ30日)	1,200㎡	炭焼窯・製鉄炉・方形地壁土坑 土坑・溝・焼窯穴・ピット	土師器・鉄滓・伊壁
2	加茂社 (381028)	三ヶ2543-1外35筆	宅地造成	H6.6.8-8.29 (延べ54日)	4,039㎡	溝・土坑・井戸	縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器・鉄滓 珠洲・陶磁器・木製品 鉄製品・石製品
3	丸山古墳 (381190)	青井谷字丸山1088-1外1筆 入会地字流清水9-1外5筆	民間福利厚生 施設建設	H6.8.31-11.14 (延べ44日)	65㎡	礎集積遺構	縄文土器・土師器 須恵器・古銭・石製品
計		3遺跡 3件		延べ 148日間		発掘面積 5,304㎡	

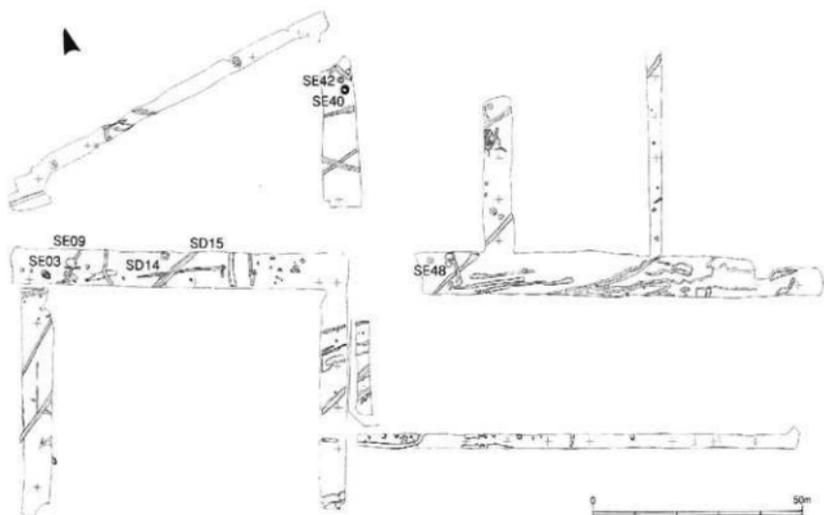
第3表 本調査一覧

加茂社遺跡 [No.2]

遺跡は、縄文土器から近世陶磁器までの遺物が確認されたが、遺構の中心となる時代は、弥生時代終末期から古墳時代初頭と平安時代と中世の3時期であった。住居跡は確認されなかったが、平安時代と中世の素掘り井戸11基を検出した。SE40は井戸側が石敷で水溜は刻り抜き丸太の井戸で、覆土から平安時代の土師器(碗・甕)・須恵器(坏・坏蓋・甕)が出土している。須恵器のなかには「上」黒書を施すものが2点あった。



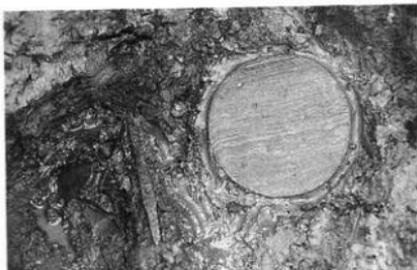
第18図 調査位置図 (1:10,000)



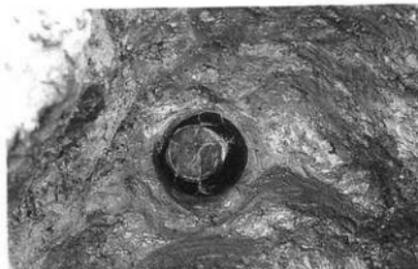
第19図 発掘区



P L. 13 井戸SE03



P L. 14 井戸SE09遺物出土状況



P L. 15 井戸SE09遺物出土状況



P L. 16 溝SD14完掘状況



P L. 17 溝SD15完掘状況



P L. 18 井戸SE40検出状況



P L. 19 井戸SE42遺物出土状況



P L. 20 井戸SE48曲物出土状況

赤坂遺跡 [No.1]

昭和59年度の試掘結果を受けて本調査を実施した。遺構は半地下式炭窯2基、竖型製鉄炉5基などが確認された。製鉄関連遺跡では製鉄炉より炭窯の数が上回るのが一般的であるので、当遺跡においては近隣の製鉄関連遺跡から木炭が供給されていた可能性が高いと考えられる。5号製鉄炉内には送風施設の崩壊したものが含まれ、伊内奥部分に接合することが確認された。県内初例である。



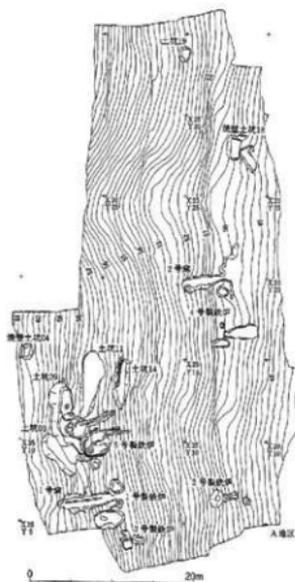
第20図 調査位置図 (1:10,000)



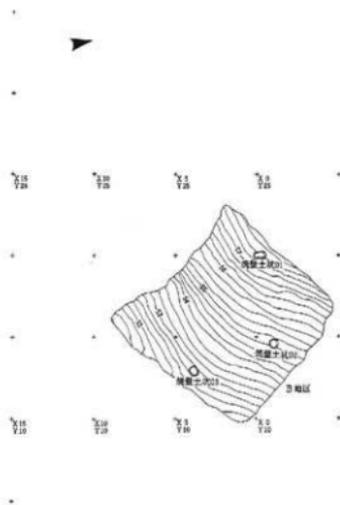
P.L. 21 5号製鉄炉



P.L. 22 遺構全景



第21図 発掘区



丸山古墳 [No.3]

遺跡は下条川左岸の標高54～56mの尾根上に位置し、丘陵頂部に立地する。遺構は礫集積遺構2基を確認した。長軸6m・短軸3.5mの楕円形と一辺約2mの平行四辺形を呈し、高さは最高で約25cmを測る。使用されていた礫が古墳西側の露頭で確認された礫と異なることから、他から運び積上げた可能性もあるが、以前は畑が近くまであり近代の遺構である可能性も捨て切れない。



第22図 調査位置図 (1:10,000)



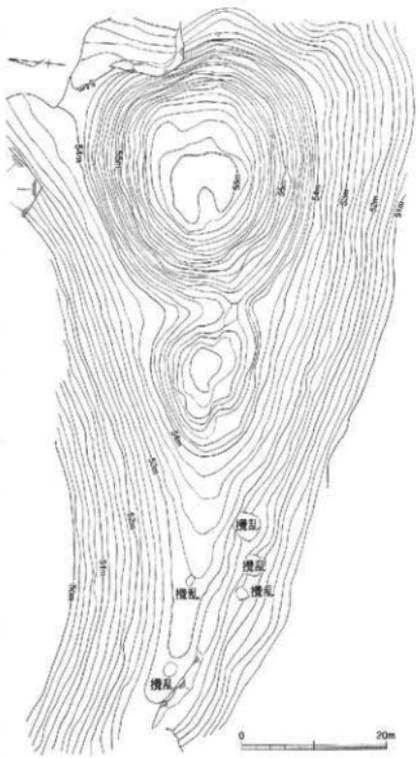
P L. 23 古墳全景



P L. 24 堆積土断面



P L. 25 礫集積遺構



第23図 現況測量図

4. 普及・活用

(1)埋蔵文化財整理室での作業

整理室では、平成5年度に実施した伊勢領遺跡・天池C遺跡の注記・復元の他、今年度報告書刊行の東山Ⅱ遺跡と鷲塚村中遺跡の接合・復元・彩色・拓本・実測・版組み・トレース・遺物撮影などの整理作業を行った。

(2)埋蔵文化財整理室の見学

平成6年度には次の見学があった。5月13日議会視察(30名)、6月2日歌の森小学校(70名)、9月24日中太閤山小学校(210名)、12月13日自然と文化を守る会(15名)、このほか町内外から約50名の見学があった。

(3)報告書の刊行

平成6年度事業として、小杉町教育委員会が1995年3月に刊行したものは以下のとおりである。

①『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1994年度』(A4版13頁)

②『小杉町東山Ⅱ遺跡発掘調査報告』(A4版26頁)



P.L. 26 土壌洗浄作業



P.L. 27 遺物撮影作業

年度	分布調査			試掘調査			本調査		
	件数	対象面積 (㎡)	延べ調査 日数	件数	対象面積 (㎡)	延べ調査 日数	件数	対象面積 (㎡)	延べ調査 日数
5	12	16,865	7	4	13,976	15	6	12,286	362
6	17	114,806	14	8	103,752	18	3	5,304	148

第4表 小杉町埋蔵文化財発掘調査件数などの年度別推移(町教委主体調査)

小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧 1994年度

1995(平成7)年3月31日 発行

編集・発行 小杉町教育委員会

T939-0393

富山県射水郡小杉町戸破1511

TEL (0766)56-1511

印刷 日興印刷株式会社

